

## 日本プロセス化学会 第22回理事会議事録

日時 平成23年12月9日(金)10時半～12時半

場所 東京大学 山上会館 BF1 会議室 002

出席：18名（陪席山本康友：記録係）

### 1 確認・報告事項

- (1) 第21回理事会議事録が承認された（学会HPご参照）…富岡清 会長
- (2) 2011年度通常総会議事録が承認された（学会HPご参照）…富岡清 会長
- (3) 2nd ISPC 2011 報告ならびに収支決算が承認された…佐治木弘尚 副会長
  - ・参加者916名。1st ISPCより若干の参加者減となったが、震災後間もない時期にも拘らず多くの方にご参加いただいた。
  - ・収入から支出を差し引いた約1,100万円はJSPCから補填した。
  - ・アンケート結果では、Keynote Lecture とポスター発表が好評だが、ポスターの時間が足りないという意見があった。
  - ・優秀賞選考委員8名は審査の時間が十分に取れないので、前以て要旨集を活用願いたいとの意見があった。
- (4) JSPC 優秀賞2011が承認された(学会HPご参照) …間瀬俊明 選考委員長  
選考委員の選任、公表等に関して左右田副会長を委員長とする表彰委員会を立ち上げることになった。
- (5) 2011 ウィンターシンポジウム準備状況が報告された…加藤昌宏 組織委員長
  - ・事前参加申込311名、情報交換会の事前申込132名。
  - ・学会スタッフ：中外5名、東大13名、化学工業日報4名。
- (6) 2012 Summer シンポジウム準備状況が報告された…高橋和彦 組織委員長
  - ・要旨2頁(A4)を維持するものの紙質等を考慮して軽量化を検討することとなった。
- (7) 2012 Winter シンポジウム準備状況が報告された…満田勝 組織委員長
- (8) 第6回プロセス化学ラウンジ報告ならびに収支決算が承認された…鴻池敏郎 副会長
  - ・和光純薬湯河原研修所の良さとベテラン講演者の故に教育的にも素晴らしい内容であった。討論も活発で、質問時間が常に不足する程であった。
- (9) 第7回プロセス化学ラウンジ準備状況が報告された…鴻池敏郎 副会長
  - ・開催場所には拘らないものの、ウィンターシンポジウムとの開催時期が非常に近いので、両者の位置づけを将来委員会等で議論することとなった。
- (10) プロセス化学会編集単行本について報告された…塩入孝之 名誉会長
  - ・「医薬品のプロセス化学」の改訂版作成にあたり、コラム欄も刷新する。
  - ・プロセス化学若手向けのノウハウ本を間瀬理事が中心になって作成予定。章割り、見出しの作成が終了し、各執筆者に原稿を依頼する前段階。2012年秋に完成予定。

- ・将来計画委員にも提案を持って出版委員会に参画して頂くことになった。
- (11) 出前講義の実施状況が報告された…富岡清 会長  
教科書として使用する「医薬品のプロセス化学」の改訂版を来年春を目処に出版する。
- (12) 日本薬学会第 132 年会（札幌）シンポジウムについて報告された…鴻池敏郎 副会長  
・5名の講演。
- (13) 地区フォーラムについて報告された…左右田茂 副会長  
・鹿島地区フォーラムの開催が報告された。
- (14) 理事会開催案内の HP 掲載…富岡清 会長
- (15) その他

## 2 協議事項

- (1) 理事再任が承認された(田辺三菱製薬(株)CMC 本部プロセス化学研究所 丸山庄治 氏)
- (2) 左右田茂 副会長を長とする JSPC 表彰委員会の設置が承認された
- (3) 新学術領域研究（研究領域提案型）有機分子触媒による未来型分子変換（領域代表：寺田教授）との合同シンポジウム 2013 仙台が承認された…鴻池敏郎 担当
- (4) 今後のシンポジウムについて承認された…鴻池敏郎 副会長
- (5) インド化学会とのジョイントシンポジウムについて塩入孝之名誉会長を中心として検討することとなった。

文責：富岡清